

# 笑顔あふれる学校

## オクラの種子

先日、3年生の子たちが、玄關芝生の周囲に植えたオクラの種子をとっていました。見せてもらうと、手にはいっぱい茶褐色に色づいた種子。とても興奮した様子で、種子の数を数えていました。子どもたちの表情から、実物に触れる体験はとても大切であることを再確認しました。

今年度は、残念ながら様々な体験活動の規模を縮小したり、中止にしたりせざるを得ませんでした。残り4か月ほどですが、コロナウイルス感染症対策を施しながら、できるだけ体験活動を行っていきたいと思います。



## 遠足・野外活動（10月30日）

先月掲載できなかったので、今月分に掲載します

少し肌寒さを感じましたが、好天のもと、遠足・野外活動を行いました。

今年度は、公共交通機関での移動によるコロナウイルス感染不安を解消するため、1年生から4年生は、徒歩で行ける範囲を目的地として、遠足を行いました。近場ではありましたが、ゆとりをもって一日過ごすことができ、どの子も十分楽しめた様子でした。

5年生は、山の学習の代替として、愛知こどもの国でデイキャンプを行いました。お昼はレトルトカレーとレトルトご飯を大鍋に入れ、薪火で温めました。子どもたちは着火に四苦八苦しながら頑張っていました。

夕方には日没に合わせてキャンプファイヤーを行い、楽しく過ごすことができました。お迎えに来てくださった保護者の皆様、大変ありがとうございました。



【特別支援学級 新地公園・歴史民俗資料館】



【1年生 桐山公園】



【2年生 草刈公園】



【3年生 新地公園・歴史民俗資料館】



【4年生 明治用水・八橋文化広場】



【5年生 愛知こどもの国】

## 5年生 バケツ稲作業（11月6日）

5年生は、JAあいちの方々のご協力・ご指導のもと、5月からバケツに苗を植え、稲を育ててきました。10月末には稲穂も次第に頭を垂れるようになりました。その後稲刈りをし、11月6日には干してあった

稲を脱穀しました。

作業では、JAの方の指導を受けながら、2人ぐらいつつ順番に穂先を脱穀機に差し込んでいきました。すると、きれいに実の部分が脱穀機の奥に吸い込まれ、子どもたちからは、「おーすごい、きれいにとれる」などの声があがりました。

この一連の体験活動を通して、5年生の子たちは、日本人の主食であるお米のでき方を知ることができたのではと思います。



## もみじ読書週間（11月9～20日）

子どもたちに読書に親んでもらうため、読書週間を設けました。また、これに合わせて、「どくしょゆうびん」を行いました。心に残った本の絵や紹介文をはがきにかき、他の子や先生に紹介するのが目的です。

子どもたちのかいた「どくしょゆうびん」はポスト（箱）に投函され、図書委員の子たちによって各クラスに届けられます。校長室にもたくさんのはがきが届けられました。中には「この本、読んでみたい」と思うものもありました。

読書は子どもの脳を発達させると言われています。語彙力、コミュニケーション能力、集中力、想像力などが高まることは、多くの専門家の共通認識です。これを機会に、少しでも多く本に親んでもらえたらと思います。



## 3年生 山車文楽体験教室（11月11日）

知立山車文楽・山町人形連の方々を講師としてお招きし、体験活動を行いました。子どもたちは興味深く、説明を聞いたり実際に人形を動かしたりしていました。

知立まつりは、国指定重要無形民俗文化財・ユネスコ無形文化遺産に登録されています。学区で行われることもふまえて、本校としては子どもたちに少しでも知立まつりに触れる機会を作ることが大切であると考えています。この体験を機に、将来、この伝統文化を引き継いでいく子が増えることを期待しています。



## 個人懇談会・知小っ子作品展

個人懇談会は、例年夏休み前にも行っておりますが、校舎内工事等により実施できませんでした。今年度は、学校での子どもたちの様子を見ていただいたり、意見交換をしたりする機会が少なく、保護者の皆様とうまく情報が伝わらず、不安に思われる声も耳にしました。申し訳ありません。

12月にはコロナウイルス感染症予防の対策をとりつつ個人懇談会を行います。わずかな時間ではありますが、担任と情報交換していただければと思います。

また、個人懇談会に合わせて知小っ子作品展を、各教室横の廊下で行います。昨年度までパティオ池鯉鮒で行われていた小中学校作品展を、今年度から各学校で作品展を行うことになりました。そのため、子どもたちは、作品の制作を進めています。

<個人懇談会>

12月15日（火）～18日（金） 個々の懇談時刻は連絡済み



## 交通事故が1番多いのは12月

1年で最も交通事故が多いのは12月です。なぜだかご存じでしょうか。その理由は大きく2つあります。1つは、仕事や年末年始の準備でせわしく運転するドライバーが増えること。もう1つは、夜の時間が長くなり、特に薄暗くなる時間帯は歩行者や自転車が見つけづらくなることです。

これらのことは、車を運転する大人は経験的に理解できますが、運転経験のない子どもにとっては分かりにくいことです。学校でも指導しますが、お家でもお子さんに話をしていただければと思います。